

第5期 第6回さいたま市外国人市民委員会 会議録

1 開催日時および場所

- (1) 日時：令和6年1月31日（水） 午後6時30分～午後8時30分
(2) 場所：浦和コミュニティセンター 第9集会室

2 出席委員氏名

委員長：西川 ナンシ

委員：頼 沃徳楽、王 蕾、羅 昊、金 京垠、ノルル シャズミラ
ディプティ アナンダ ムルティ、山下 美賢、柳田 リサ アン

3 議題

- (1) 第5期外国人市民委員会提言内容について

4 会議の公開

公開 傍聴者2名

5 会議資料

- ・次第
- ・委員名簿
- ・第5期さいたま市外国人市民委員会提言書（案）
- ・第5期外国人市民委員会 第4回～提言までの流れ・予定
- ・第5期 第1回さいたま市外国人市民委員会での意見
- ・第5期 第2回さいたま市外国人市民委員会での意見
- ・第5期 第3回さいたま市外国人市民委員会での意見
- ・第5期 第4回さいたま市外国人市民委員会での意見
- ・第5期 第5回さいたま市外国人市民委員会での意見
- ・第1期～第4期さいたま市外国人市民委員会提言内容について

6 内容

- (1) 第5期外国人市民委員会提言内容について

《事務局説明》

事務局より、これまでの会議で出た意見と提言までの流れについて説明しました。また、第5回さいたま市外国人市民委員会後に修正した、第5期さいたま市外国人市民委員会提言書（案）について説明をしました。

(2) 意見交換

[主な意見]

(「1 外国人市民が地域の活動に参加し、つながりを持って暮らせるまちづくり」について)

- ・さいたま市がイベントを開催する場合、一方所でチラシを出すだけでは限られた場所に行く人しか知ることができない。他の人にもわかる方法でお知らせができるとうい。
- ・イベントが開催されていることを知らないことも多いので、日本語教室などで外国人に知らせてもらうのがいいのではないかと。
- ・図書館だけでお知らせをすると、図書館に来る人しか知ることができない。人が多く来る公共施設や、市のイベントなどでお知らせをするのがよい。

(「2 外国人市民への情報発信・情報提供の充実」について)

- ・先日、保健センターで出産に関する英語のビデオを看護師と一緒に観た。看護師は英語ができなかったが、やさしい日本語で話をしてくれて、とてもいいサポートだと思った。
- ・50代以上の人はLINEやメッセージを使えない人も多い。今後増加する高齢者に情報を届けるためにはどのようなチャネルを使って情報発信をすればいいのか、統計データを用いて分析することも必要。
- ・さいたま市では防災アプリがあるが、アプリを使ってもらうためには、きっかけが必要。たとえばアプリを使う人にクーポンを配布するなど。そしてアプリの使用を習慣化することができれば、多くの人がアプリを利用するようになる。
- ・「(2) 生活に必要な情報の発信について」のところ、防災や就労に関する情報と書いてあるが、防災などは知らせる場所だけでなく、タイミングも大事である。タイミングよく情報を発信するとSNSになるので、(ii) のところにタイミングについて加えるとよい。
- ・「(3) 学校生活の支援について」の、具体的な方法の提案として、入学前の準備機関の時期に3か月連続で、市報の同じ箇所に、学校生活について紹介する動画のQRコードを載せると、動画を観る人が増えると思う。
- ・同じく(3)について、ここにはインターネットで見ることができると書いてあるが、インターネットに限らない方がよい。親子で事前に学校の中を見学できれば、学校の状況を理解できるし、イメージもしやすいので、そういった支援があるとよい。
- ・(3)について、情報の提供だけではなく、どのような情報を必要としているか把握することも重要である。ここは「困っていることの把握」を加えて、

「^{こま}困っていることの^{はあく}把握と日本の^{にほん}学校について^{がっこう}理解するための^{りかい}支援」に^{しえん}変更するの^{へんこう}がよい。

- ・「(4) ^{びょういん}病院に行くときの^{しえん}支援について」では、^{じゆしん}受診の際の^{しえん}支援について^か書かれているので、その^{ないよう}内容がわかるタイトルに^か変えたほうがよい。「^{びょういん}病院に行くときと^{いしやく}医者に^み診てもらおうときの^{しえん}支援について」に^{へんこう}変更すると^{ないよう}内容とも^あ合ってくる。
- ・(4) には「^{がいこくじん}外国人の^{たいおう}対応が^{かのう}可能な^{びょういん}病院」と^か書いてあるが、^{がいこくじん}外国人の^{たいおう}対応と^{たげんご}多言語の^{たいおう}対応で^{いみあ}意味合いが^か変わってくる。「^{たげんご}多言語の^{たいおう}対応が^{かのう}可能な^{びょういん}病院」の方が、^{がいこくじん}外国人にとって^{たす}助けになる。

まとめ

- ・本^{ほん}日^{じつ}の^{いけん}意見をもとに^{ていげんしょ}提言書(案)を^{じむきょく}事務局で^{しゅうせい}修正し、^{ていげんしょ}提言書の^{さいしゅうばん}最終版を^{きくせい}作成することとしました。

いじょう
以上